

熱脱着による土壌浄化 T P S 工法

Thermal Desorption Technology



間接熱脱着設備実機 全景



小型機

原理

汚染土壌を加熱することにより、汚染物質（PCB、ダイオキシン、POPs農薬等）を揮発させて分離する技術です。

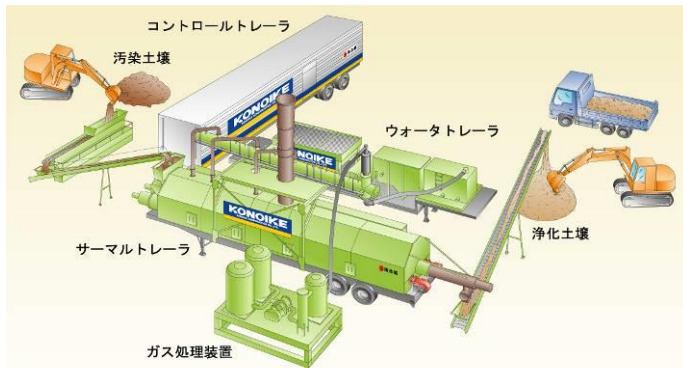
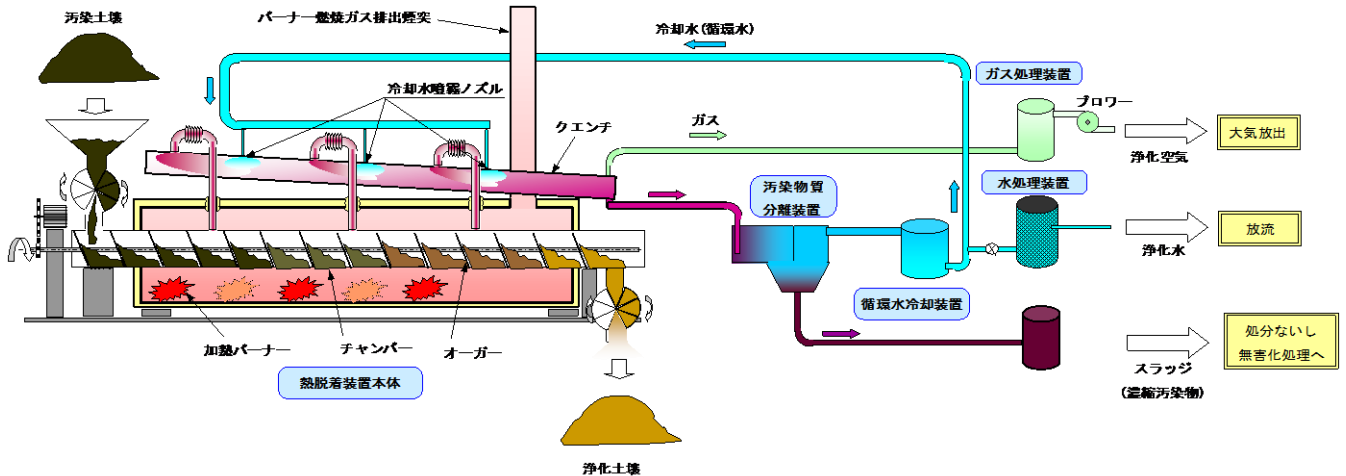
加熱方式には直接加熱と間接加熱の二通りがあり、当社はダイオキシン類が発生せず、大気放出ガス量の少ない間接熱脱着方式を採用しています。

特徴

- ◆ 汚染物質の種類・濃度や土質による影響が小さく、複合汚染にも対応可能
- ◆ 汚染土壌の現地処理が可能
- ◆ 短期間での処理が可能
- ◆ 分離された汚染物質は、別途処理が必要

※「TPS工法」は、環境省「平成15年度ダイオキシン類汚染土壌浄化技術実証調査」等に採択され、技術評価を受けています。

また、「PCB等処理技術調査検討委員会」によるPCB汚染物処理技術の技術評価も取得しています。



間接熱脱着設備 配置イメージ



TPS工法 設備設置状況

2021
150

おかげさまで、私たち鴻池組は
2021年で創業150周年

まじめに、まっすぐ
KONOIKE

(株)鴻池組 環境エンジニアリング本部

大阪 TEL 06-6245-6589

東京 TEL 03-5201-7920

<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>